令和６年度

第３回 豊浦町地域公共交通活性化協議会 議事録

令和６年度　　第３回 豊浦町地域公共交通活性化協議会

１．開催日時　　令和７年１月 28 日（火）午後３時 00 分開会

２．開催場所　　豊浦町役場３階　第１会議室

３．出席委員　　（うち委員 20 人）　　（敬称略）

所属・職名	氏　名
豊浦町 副町長	沼舘　靖展
胆振総合振興局 地域創生部 地域政策課長	西﨑　拓也
北海道開発局 室蘭開発建設部 有珠道路事務所長	田中　学
胆振総合振興局 室蘭建設管理部 洞爺出張所長	三浦　学
北海道旅客鉄道株式会社 洞爺駅長	中尾　健二
道南バス株式会社 営業管理部長	伊藤　晴美
有限会社豊浦ハイヤー 取締役	長嶋　哲廣
札幌方面伊達警察署 交通課長	上田　平
国立大学法人 室蘭工業大学大学院工学研究科 教授	有村　幹治
豊浦町自治会連合会 推薦者	上白土　長幸
豊浦町社会福祉協議会長	栗山　明男
豊浦町商工会長	金丸　淳
公募委員 大岸自治会長	春日谷　賢一
豊浦町 建設課長	佐藤　一貴
豊浦町 町民課長	久保　隆史
豊浦町 生涯学習課長	大嶋　果林
豊浦町総合保健福祉施設 事務長	武石　修
一般社団法人 噴火湾とようら観光協会 事務局長	岡本　貴光
学校法人 北海道シュタイナー学園いずみの高等専修学校長	市川　貴弘
地方独立行政法人 北海道立総合研究機構建築研究本部 北方建築総合研究所 建築研究本部企画調整企画課 研究主任	岡村　篤
地方独立行政法人 北海道立総合研究機構建築研究本部 北方建築総合研究所 地域研究部地域システムグループ主査	石井　旭
特定非営利活動法人 まちづくり支援センター 代表（アドバイザー）	為国　孝敏
日本データサービス株式会社 計画調査部 主任技師（調査業務委託事業者）	中野　滉

４.欠席委員　　（委員２人）　　（敬称略）

団　体　名	委　員　名
北海道運輸局 室蘭運輸支局 首席運輸企画専門官	門間　俊也
北海道地方交通運輸産業労働組合協議会 室蘭地区交通運輸産業労働組合協議会 課長代理	工藤　幹彦

５．事務局　　（豊浦町 政策財政課）

事　務　局	長	本所　淳
局	員	武田　貴博
局	員	玄間　芳也

６．議事日程

【協議事項】

（１）地域公共交通確保維持改善事業（計画策定）に関する事業評価について

（２）豊浦町地域公共交通計画（案）について

７．会議の概要

○事務局	それでは定刻となりましたので、令和６年度第３回豊浦町地域公共交通活性化協議会を始めます。 会議を始める前に、お手元の資料を確認させていただきます。 会議次第に配付資料の一覧が記載されていると思いますが、お手元に会議次第と席次表のほか、資料１－１、資料１－２と資料２の計画素案はございますでしょうか。 もし不足がございましたら、事務局までお知らせいただきますようお願いいたします。 豊浦町地域公共交通活性化協議会は、22 名の委員に就任いただいておりまして、そのうち、本日の出席者として、ウェブでのご参加も含め、20 名にお集まりいただきました。 今回所要により、北海道運輸局室蘭運輸支局の門間委員、室蘭地区交通運輸産業労働組合協議会の工藤委員から欠席のご連絡をいただいております。 北海道立総合研究機構建築研究本部北方建築総合研究所様につきましては岡村委員と、オブザーバーとしまして地域研究部地域システムグループの石井主査に WEB にてご出席いただいております。 委員総数の過半数を満たしておりますので、本日の会議は有効に成立することが確認できましたため、会議の開会を宣言いたします。 改めてご確認でございますが、議事に入る前に申し上げます。 協議の中身は、豊浦町地域公共交通活性化協議会規約によりまして、原則公開となり議事録につきましても町のホームページで公開することになります。 ただし、協議会の決定により非公開の決定をしたときは非公開とすることができますので、議事の内容により議事録の非公開が適当であるというご意見がございましたら、その都度ご提案をお願いいたします。 それでは議事の進行に入ります。 沼舘会長、お願いいたします。
○会長	皆様、こんにちは。 本日はお忙しい中お集まりいただきまして、ありがとうございます。 どうぞよろしくお願いいたします。 それでは、早速ではございますけれども議事を進行させていただきます。 まず、議題１より事務局から説明をお願いいたします。
○事務局	（資料１－１、１－２　説明）
○会長	それでは、事務局の説明につきまして、ご意見等はございますでし

ょうか。
WEB でご参加の方につきましては、ZOOM の手を挙げる機能にてお知らせいただきますようお願いいたします。

（意見等なし）

それでは、ご意見等が無いようですので次の議題に移りたいと思います。
議題２につきまして、事務局から説明をお願いします。

○事務局　（資料２　説明）

○会長　それでは、事務局の只今の説明につきまして、補足やご意見がございましたらお願いいたします。

（意見等なし）

ご意見等が無いようですので、以上で本日の議題は終了となりますが、豊浦町地域公共交通計画は本年度の完成を予定しておりますが、次年度以降に公共交通の再編による利便性向上に向けて「地域公共交通利便増進実施計画」の策定に着手する予定でございます。
このことから、よろしければ委員の皆さまより豊浦町の地域公共交通全体を通してお一人ずつ、一言で結構ですのでご意見などを頂戴したいと思うのですが、お願いできますでしょうか。
出席者名簿の順番でお願いいたします。

○西﨑委員　本日は皆さんお疲れ様でした。
今後も豊浦町の地域公共交通の活性化に向けまして議論が交わされることを望んでおりますし、特段具体的な意見等は持ち得ておりませんが、こういった場を通じまして最適な公共交通につながるような案ができればと思いますので、引き続きよろしくお願いいたします。

○田中委員　特段これといった意見はないのですが、進めることが大事ということで、こういった取り組みが結果に結び付くことを期待しております。

○三浦委員　バス路線について、道道がかなりの部分で担っているということで、豊浦京極線の道道は一部ロードヒーティングが入っているのですが、近年老朽化で作動不良が結構起きておりますので、こちらの方でも不都合がないようにしていますけれども、何かお気づきの点ありましたら、どしどし私どもの事務所にご意見いただければ、こち

らで対応いたしますので、よろしくお願いいたします。
出席の皆さんもよろしくお願いいたします。

○中尾委員　私も具体的な意見は特段持ち合わせていないのですけれども、実施計画の策定に向けて、今後も引き続き微力ながら協力させていただきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

○伊藤委員　日頃から色々お世話になっております。
昨年の 10 月から豊浦線を廃止させていただきまして、現在、洞爺湖温泉線という運行で乗り継ぎをいただきながら、伊達方面までのご利用をしていただいてるという状況でございます。
今後、本日の第 7 章のところにもございましたけれども、 新たな公共交通の導入に向けてご検討されるということでございますので、現在の洞爺湖温泉線をご利用いただきつつ、豊浦町民の公共交通の活性化というところでご協力できたらと思っておりますので、引き続きよろしくお願いいたします。

○長嶋委員　豊浦町の場合、道路が幹線状に伸びていますので、この辺の市町村には無いメリットと言うのか、豊浦町を起点にニセコや日本海側や伊達市にも行けるので、何かあった時にアクセスも即座にできます。
また、将来新幹線ができた場合、この辺の特急がまともに走ってくれるのか心配です。
今でも閑散期ですと、伊達、洞爺、室蘭、白老、苫小牧でも 10 人くらいしか降りたり乗ったりしないのですが、電車自体はびっちりです。その理由は、皆さん函館に行ってしまうからです。ということは、将来的に新幹線が開通すれば、こちらの太平洋回りの路線は誰も乗らなくなります。そしたら、JR だってそんなところ走っていられないとなりますので、長万部を起点に新幹線が 1 時間につき上下 2 便ずつ走るのであれば、特急も 2 便ずつ、それに接続するように走らせないといけませんが、将来的にそうならないのではという心配があります。
幹線道路が放射線上に伸びていますので、各市町村と協力してなんとかこれ以上公共交通が悪くならないような施策を活性化していくよう各部門にお願いしたいです。
やはり、交通の便が悪くなれば、皆さん町から出ていきますし、それは他の町村も一緒だと思います。
そのような心配がありますので、どうぞよろしくお願いいたします。

○上田委員　本日はお疲れ様でございました。
警察の方としては 2 点ほど。
1 点目が、皆さま方のこの協議会の活動は、高齢の方々が免許返納した場合のことを考えますと、非常に大事なところとなっております。

我々も可能な限りこういった協議会を始め、地域公共交通の維持に向けて尽力していきたいと考えておりますので、何かしらございましたらおっしゃっていただければと思っております。
2点目としましては、各地区におきまして、道路の交通規制とかでお気づきの点が皆さまあろうかと思います。
我々も企画規制の関係につきましては、道本部の方に話を挙げたりしながら適切な交通環境の維持を考えているところでございますけれども、なかなか目の行き届いてないところもあろうかと思います。したがいまして、今後とも皆さま方のご協力を受けまして、各地区における安全な交通環境を作っていきたいと思っておりますので、ご協力いただければと思っております。本日はお疲れ様でした。

○有村委員　計画策定、皆さまお疲れ様でした。
私自身は室蘭市の公共交通協議会の会長を務めていますが、元々は2011年ぐらいから法定協議会になる前から室蘭市の方を見ていまして、その経験を踏まえて言うと、こういった公共交通計画を立てて、その後、実施計画で実際に実現に向かっていきますよね。
すると、やっぱり課題が出てきて、室蘭もAIオンデマンドを入れて無償でやった時はものすごいお客さんが乗ったのですが、有償に切り替えた途端、急にお客さんが乗らなくなって、結果的にサービスをそのまま実装できなくなり、また形を変えながら令和5年度、6年度と分析を続けていますので、結構粘り強くやっていかないと、こういう公共交通の再編ですとか最適化みたいな話にはなかなか繋がっていかないのです。
よく最適化という言葉も使われるのですけれども、何を持って地域全体で最適と言っているのかもすごく大事なんですよね。
事業者にとってコスト削減が最適と言って、結果的には公共交通ネットワークがシュリンクして利用者がなかなか動けなくなってしまうということになると、全体を見た時には最適にはなっていないのです。
住民の方々の意見も徐々に変わっていきますので、今計画策定したばかりだと思いますけれども、次年度以降も本当に粘り強く、 あと社会の情勢と言いますか、先ほど新幹線の話も出ましたが、例えば伊達で今シェアリングの話出てきていますよね。伊達と壮瞥で今日ニュースになっていましたけれども、ライドシェアの話がどうも始まるらしく、ああいった情勢を考えてみると、タクシーの稼働していない時間帯においては、もしかすると地域でライドシェアをの取組みをやってみるとか、周りの情勢を見ながら豊浦町の良い形でこの協議会が次年度以降も取組み続けていければ非常に良いのかなと思っております。以上です。

○上白土委員　豊浦、札幌間が無くなりましたね。

それを復帰してもらいたいです。以上です。

○栗山委員　豊浦町の高齢者率が 38 パーセントということで、これからもどんどん増えていくということで、高齢者の買い物だとか通院の件数も増えてくるような形になるかと思いますけど、この辺もこれからの計画の中で検討していただければという風に考えております。以上です。

○金丸委員　町民としては、豊浦町はやっぱり高齢化が本当に進んでいるので、こういった計画を策定する中で、若い人の負担増などを今後どう考えていくか、5 年、10 年後を考えて、ちゃんとした計画を立てていかないと長続きはしないのかなと思いますし、商工会としては、いろんな商売とか観光客とかの関係もありますので、事業をやられる方に多少手助けができることがあれば協力はしたいとは考えております。
策定だけではなく、PDCA をしっかり繰り返しながら継続していけるような事業計画となり、それが実行できればなと思っておりますので、微力ながら協力はさせていただきますので、よろしくお願いします。

○春日谷委員　通学関係では、一般の人と一緒に乗るような形で動いていますけれども、いわゆる人数の関係で今のバスのスタイルでいいのか、現実的な部分をもう少し柔軟に考えていってもらわなければ、財政面とか我々が考えることではないですけれども気になります。
バスに関しても、買い物して高齢者が乗り降りするのを見ていますと、ちょっと不自由な感じがあります。
バスの構造を変えて、荷物をバスの下に入れるとか、高齢者が乗りやすいようなスタイルのバスの形作りを柔軟に考えていって、本当に乗る人が増えるような、 利便性の良い形を作っていってもらえればよろしいのではないかと思います。ありがとうございます。

○佐藤委員　建設課は、計画にもありますが町営バスが深く関わってくると思いますので、まさに今、春日谷さんが仰ったとおり、利便性の向上というところで大きく関わらないといけないですし、今後の町営バスの在り方というのもこの計画上では重要になってくると思います。
先ほど、関連する計画のところにもありましたけれども、住生活基本計画を所管しておりますが、住まいや暮らしといったところは計画に深く関わってくると思いますので、所管課として引き続き、皆さまと一緒に取り組んでいきたいと思っています。

○久保委員　町民課としましては、主に就学前の部分や放課後児童クラブ、あとは子育て支援ということで高校の通学費助成で定期券の助成事業を

行っております。
今本当にお子さんを生まれる方が少なくなってきておりまして、だんだん子供が少なくなってきて、学童の方も今送迎されてる方は 1 人、2 人という状況になっています。
今後そのような形がなくなってしまう可能性もございますし、高校生の通学の部分についても、JR 等が廃止になったり、地域交通を活用するという話になれば、こちらの高校生の通学の助成の在り方等について色々考えないといけないので、この協議会と情報共有しながら進めていければと思っております。以上です。

〇大嶋委員　生涯学習課所管につきましては、就学児童・生徒の通学に関することが主でございます。
先ほど春日谷委員からもございましたように、通学に関しましては、町内全域から通学しているような状況になっております。
従いまして、この計画策定ですが、実効性がある計画になるよう、今後とも微力ながら尽力したいなと考えておりますので、よろしくお願いいたします。以上です。

〇武石委員　私どもは主に高齢者移送サービスとして、有償になりますが通院の介助を行っております。
年々ニーズも変わってきておりまして、今皆さまのお話であったように買い物支援等ができないだろうかというお話をいただいております。
これを含めまして、事業の在り方について、あとは料金がかなり格安ということもありまして、その辺も踏まえた事業の見直しということを今考えております。
今後、各委員の皆さまにまたご相談させていただく機会があろうかと思いますが、その際はよろしくお願いいたしたいと思います。以上です。

〇岡本委員　皆さま、お疲れ様です。
まず、計画策定につき、事務局の皆さまにおかれましては大変お疲れ様でした。
計画策定の部分からちょっと外れてしまうのですけれども、2 週間ほど前に JR 豊浦駅前でコミュニティバスを待たれていた高齢女性がいらっしゃったんですけれども、スケートリンクのようにつるつるになっていて、杖をつかれていたので 1 人じゃ動けない状態でバスに乗れないところをたまたまお見かけしたんです。
それで、バスに乗るところをお手伝いしてあげたのですけれども、高齢者であったり、小さい子供に優しい計画策定といいますか、移動手段もそうですけど、こういった部分も一緒に考えていけるともっと優しい町づくりになるのかなという気はしています。

あと、JR 豊浦駅の階段部分も、やっぱり高齢の方が買い物から帰ってきて、大きな荷物を持って階段を降りられたりというのをよく見かけます。
自分の手の空いてる時はお手伝いできるのですが、そういうことも今後一緒に考えていければいいなとは思っています。
流石にエレベーターをつけるというのは、多額の費用が掛かったりしますので、何か違う形でそういうサービスがないのかなと感じています。
引き続き検討いただければと思います。以上です。

○市川委員

事務局の皆さま、本当に大変なお仕事をどうもありがとうございます。
学校という立場から申し上げますと、先ほどお話もありましたように、JR さんの例えば室蘭方面に行く電車の本数や時間が変わったりしますと、場合によっては本校もそうだったのですが、始業時間を変えないといけないなど、いろいろなことが出てまいります。
また、特に本校の場合、私立ですから学区というものがありませんので、町外から通ってくる子供・生徒もおります。
ですので、利便性といいますか、何か通学に関しても良い方法があればという風に思っております。
また今後とも考えていきたいと思いますので、皆さんよろしくお願いいたします。

○岡村委員

計画策定、大変お疲れ様でした。
今回、計画策定にあたって住民説明会もやってこられ、大変苦労されたところもあれば、住民から大変貴重な意見が出たことでしょうし、かなり実りのある会が今回できたのではないかと思います。
それの蓄積で今回の計画ができたんじゃないかと考えております。
引き続き、このようなプロセスを次年度以降も継続していき、さらに実りある計画、実効性のある計画というものを構築していければという風に考えております。
どうもありがとうございます。引き続きよろしくお願いいたします。

○石井オブザーバー

オブザーバーという立場で大変失礼します。
計画策定、大変お疲れ様です。
高齢の方々含め交通が困難な方々を主とした計画策定という風に理解いたしまして、非常に共感できますし、大事な観点かなと思っています。
施策の例えば 3 番にもありますように、「町内の交通資源を総動員した」というキーワードも非常に共感できまして、なかなかこの事業を交通事業者さんだけでやるっていうのはやっぱり大変だと思います。

先ほど お話ありましたように、地域の方々の荷物の乗り降りを住民の方が手助けするとか、地域の方々も含めて自分事として取り組めるような仕掛け、参加のきっかけ作りというのを行政や事業者さん含めて引き続き考えていけるといいんじゃないかなという風に思いました。以上です。

○為国アドバイザー

皆さん、お疲れ様でございます。
この計画は、とりあえず豊浦町に住んでいらっしゃる方の移動の足に関わるところはある程度押さえられたかなという風に思っていまして、あとは実行していただくということが大事なんですが、それ以上に、実は交通は交通システムから入っちゃダメなんですよ。
つまり、まちづくりから入らないとダメで、こうやってせっかく作ってもこれは守りなんですよね。交通という守り。
皆さんの足を支えるという守りだけであって、大切なのはこれで豊浦町の活性化に繋がっていかないといけないと思っていまして、活性化に繋がるっていうことを支えるのがまた交通なんですね。
実は昨日、洞爺湖町で打ち合わせをやったのですけれども、今洞爺駅はインバウンドですごいんですね。 トランクいっぱい持ってきちゃって降りれない。そこで5分くらい乗降に時間がかかっちゃう。
それで遅延するという状況が生まれているぐらい今オーバーツーリズムの問題が出てきています。
豊浦町はまだそこまでは来ていないかもしれませんけれども、今朝のニュースで観光協会が、ホタテのお守りを「落ちないホタテ」といって合格祈願のお守りを作っているのを NHK のニュースで拝見しました。
やっぱり、もっともっと魅力作りをやっていかないと住んでおられる方も住んでて楽しいという風に思わせるようにしないといけない。
そうすると、そこに移動が生まれるんですね。
せっかくこうやってみんなで足を作っても、移動したいというニーズを作っていかないと維持できないという形になります。
一応、維持できるための土台は作れたかなと思っているんですけれども、これを今度は他の部署からも色々ご協力いただきながら、町の方向としてどういう風にやっていくか、これは副町長さんが大切な役割だと思いますが、そういう風にして豊浦町を支えて活力あるようにすることに是非繋げていただければと思います。
そういう面で応援していきたいと思いますので、今後ともよろしくお願いいたします。以上です。

○会長

皆さま、貴重なご意見ありがとうございます、今後の協議会運営に活用させて頂きたいと思います。
最後に事務局から連絡事項はございますか。

○事務局	計画につきましては、本日の会議をもとに一部修正、最終確認を行い、パブリックコメントの実施と豊浦町議会への報告を経て完成となります。 完成後の計画につきましては、本年度最後に予定をしております協議会にて報告させていただきます。 計画素案との大幅な修正等がない場合は、書面会議による開催とさせていただくこともございますので、よろしくお願いいたします。
○会長	以上で令和 6 年度第 3 回豊浦町地域公共交通活性化協議会を終了とさせていただきます。 長時間にわたりありがとうございました。